

(別紙4(2))

事業所名: 翔里第二グループホーム

作成日: 平成 30 年 4 月 15 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	運営に関する利用者様、ご家族等意見の反映は、行っていると感じていたが、アンケート等にてご家族からの意見が聴かれ、利用者様、ご家族の意見を十分聴くことが出来ていないことに気づいた。利用者様の状況等についての情報提供は行っているが、ご家族の意見を十分聴き運営に反映できていない。	利用者様、ご家族の方などの意向、意見などを聴く。	①利用者様からは、日頃のケアを行う中で、情報収集を行う。 ②ご家族からは、受診等の連絡を行うときなど、意向が聴けるようにする。 ③面会時なども、ご家族から意見を言っていたりするような雰囲気づくりを行う。	6ヶ月
2	4	運営推進会議の参加者は、市役所介護保険班の職員様、地域の民生員様、地域の代表の方ときまっている。また、以前は回ごとにテーマを決めて、内容に沿った関係者の方にも参加をいただいていたが、今年度はできていなかった。また、参加されなかったご家族への情報提供も行えていなかった。	①運営推進会議を活性化させるために、年間の計画(テーマ等)を立てそれに沿って開催する。 ②テーマに沿った出席者の検討、声掛け。 ③参加できなかったご家族、関係者への議事録の配布などの検討。(現状を知っていただくため。)	①について:年間計画を立案。職員の意見も聴く。 ②について:年間計画作成にあわせて、出席していただく方の検討も行う。 ③について:ご家族にも運営推進会議で話し合われている内容について知っていただくために請求書と一緒に送付する。面会時などにも話をする。	12ヶ月
3	1	理念を毎日唱和して、理念を意識して介護業務を行うようにしているが、実施の現場で理念を基に実践できているとは言い難い。定期的に振り返る機会が必要と思われる。	理念を基に職員個人の年間目標を立て、定期的にふりかえることで、職員のレベルアップにもつなげることができる。	①理念を基に、職員個人の年間目標を立てる。 ②その後、管理者等と個人面談を行い、目標を意識しながら業務を行う。 ③定期的に管理者等と振り返りの時間を持つ。④1年後、個々人の目標が達成できたか自己評価を行う。	12ヶ月
4	35	年2回の消防署立ち合いのもと避難訓練を実施しているが、地域の方と一緒に合同訓練は、実現できていない。また、消火器を使用したことがない職員がいることも把握できていなかった。一時避難場所についても、再度検討が必要。	①3か月1回のペースで避難訓練を実施する。(夜勤する職員全員が1回は経験できるよう計画する) ②年1回は、地域(近隣の地域の方、区長さん、民生員の方、消防団等)の方との避難訓練を実施。	①避難訓練を計画し、実施後には、反省点を踏まえ次につなげていく。 ②年1回の地域との合同避難訓練に向けて準備を行う。 ③一時避難場所を、津吉小学校にお願いに行く。決定したら、ご家族へ報告を行う。(直接の面談、文書にて報告する。)	ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。